

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 令和3年

法人名	特定非営利活動法人 だんだんの樹	代表者	理事長 服部恵津子	法人・ 事業所 の特徴	法人の理念に基づき、地域と共に助け合い、地域の資源となる事業所を目指しています。地域行事への参加や、近隣の保育園児との交流、また近隣への買い物や散歩等も実施しています。ご利用者様にとって、穏やかな日常が継続できるように職員とご利用者様が共に助け合い笑い合う事業所です。
事業所名	小規模多機能事業所 だんだん	管理者	土田紋子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	4人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価について、時間をかけて報告するなど分かり易い報告方法を検討していく	運営推進会議では、事業内容の報告が主となり、自己評価についての説明や取組みについての説明する機会を作れなかった	自己評価への取組みについては十分評価できる コロナ禍でも【研修などの自己向上に】工夫して取り組んでいたことが分かった	事業所自己評価、各項目の改善計画を職員が意識して活動していく
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症対策を取りながら、室内の清潔保持に努める	アクリル板設置や換気等、基本的対策を徹底した 毎日の清掃の他、アルコールや次亜塩素酸での拭き掃除を継続	結果が数値化しにくい事業だと痛感した	感染症対策を怠らず、利用者が安心して利用できる事業所を目指す
C. 事業所と地域のかかわり	だんだんだよりの他、地域に向けたチラシを作成し、利用者やボランティアなど広く募集する	中川地区や弥生台自治会の会合でだんだんを知ってもらう機会を得た ホームページリニューアル	事業所が地域とどのように関わっているか「わからない」という意見が多かった	地域密着型サービスとして認知してもらえるよう、自治会参加など顔の見える関係作りをする
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の回覧板を見て地域行事を把握する	回覧板を直接見ることはしていなかった 自治会行事はコロナ禍で中止されていた	利用者を事業所の中に閉じ込めていない、と評価	利用者の自宅の自治会や民生委員とも必要に応じて連絡体制を取っていく
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の心配事に対して、参加しているケアプラザや区役所とも連携して取り組む	ケアプラザに寄せられた相談が利用に繋がり、その後も連携して支援を継続している	住み慣れた地域での生活を希望する場合にぜひ、小規模のサービスを検討してもらいたいと思いました	地域で困っている方に対して、情報交換をする
F. 事業所の防災・災害対策	消防署員と行う訓練には、AEDや心肺蘇生などを取り入れることで地域にも参加してもらう	近隣協力住民の方と消火器訓練を実施した 利用者の家族には参加を呼び掛けていない	防災計画について「わからない」という意見が多い	だんだんだよりやホームページを通して、防災対策について発信する

